



# ★ The Y's MEN'S CLUB of もりおか

## <VOL218.2026.2>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-19-22 019-658-8773 盛岡YMCA内  
 盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」  
 2月の聖句 ヨハネの手紙 4章16節



「私たちは自分たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにとどまる人は神のうちにとどまり、神もその人のうちにとどまっておられます。」

|            |             |                   |
|------------|-------------|-------------------|
|            |             | 「主題」              |
| 国際会長       | エドワード・オン    | 「信念、愛、行動」         |
| アジア太平洋地域会長 | 田上 正        | 「信念と愛をもって行動しよう」   |
| 東日本区理事     | 山下 真        | 「ワイズのらしさ再発見」      |
| 北東部長       | 三田 庸平(もりおか) | 「ユースと共に明るい未来を」    |
| もりおかクラブ会長  | 長岡 正彦       | 「リーダーの志を、全力で支えよう」 |

|      |           |
|------|-----------|
| 会長   | 長岡 正彦     |
| 副会長  | 山口 貴伸     |
| 書記   | 濱塚 有史     |
| 会計   | 三田 庸平     |
| 副会計  | 大関 靖二     |
| 担当主事 | 中村 渉(ちゃん) |
| メネット | 井上 優子     |

**2026年3月定例会**

日時、場所 3月20日(春分の日) アイーナ団体活動室2  
 18時～20時

例会費 1,000円

卓話

### 会長巻頭挨拶



みなさま、あれだけ降った雪、あれだけ寒かった気温、まさに井上陽水の「氷の世界」を地で行く冬が終わったようです。高い気温、あつという間に溶けていく雪、積み上げた除雪の雪は見るも無残、汚い名残雪になってしまいました。後1回か2回、雪は降るでしょうが、根雪となることは無いような気がします。

長岡会長

今年のリーダーの卒業生は20人。毎年3月に卒業式の送別会を行っていましたが、今年は2月28日です。卒業生を送るギター演奏のため練習をしています。今年から、山口メンがエレキベースで参加です。音に厚みが増してとてもいい感じです。送別会に参加してぜひお聞き下さい。それもう一つ、魚住メン(YMCA理事長)と長岡会長がそれぞれの送る言葉の時間を使って二人で「今日の日はさようなら」を卒業生に送ります。長岡のリクエストに魚住メンが応えてくれました。本番前に1回音合わせの練習を行い卒業生に送ります。毎年、卒業生に送る感謝状が出来上がりました。当日に送ります。ありがたいの気持ち

添えて。  
 過ぎてしまえば時間は早い。もりおかクラブの4回目の会長職を引き受けて2年になります。来季の会長の続投が決まり、過去に例が無い、3年連続の会長が決まりました。マンネリにならないよう皆様の足を引っ張らないように、過ぎ去った3年には何もなかったというようにはならないよう気合を入れて会長を務めていきます。

### 2月、定例会の報告

2月14日(土)、アイーナで開催。参加者、長岡、高橋、大関、三田、濱塚、シンティア、井上、井上優子、加藤、梶原、魚住、中村、(敬称略)以上12名。ゲスト、八重樫公子さん、高橋創さん(ピン)、加藤萌生さん(ペペ)、田口佳樹さん(ジジモン)、滝澤里菜さん(グラ)、吉田桜千さん(ハッピー)、西澤修司さん(キャップ)以上7名、全19名で開催されました。

久々に、大人数の参加で例会が盛り上がりました。嬉しい限りです。ゲストの卓話は、加藤メンとジジモン。農業青年塾への参加した感想や感じたことなどをお話していただきました。今回も AI

君の分析で記事を書きました、お楽しみに。八重樫公子さんは、程さんのセミナーと一緒に参加した方です。意気投合して、ワイズの例会に招待しました。皆様とも意気投合していただけたら嬉しいです。よろしく願いいたします。そして、今夜大関メンと、井上メンが参加してくれました、こちらも嬉しい限りです。体調と相談してこれからも長く、何回も参加してくれることを望みます。



開会ハッピー 閉会キャップ

開会点鐘は、吉田桜千さん(ハッピー)。閉会点鐘は西澤修司さん(キャップ)。点鐘を参加したリーダーに行ってもらうのが恒例になり、コミュニケーションを取るには最高の手段だと思います。これからもリーダーによる点鐘を続けていきます。1分スピーチを行い、近況を聴きました。それぞれの物語は、聞いていてワクワクします。楽しい例会は、夜が更けるのと一緒におわりました。



参加してくれたリーダー達



2026年2月定例会集合写真

### 第30回農村青年塾、命の循環を通じた次世代リーダーの育成

田口佳樹さん(ジジモン)、加藤淳メン

「農場と生命」を軸に、次世代を担うリーダーの資質を磨くことを目的とした教育プログラム、「農村青年塾」は、かつて日本YMCA が組織的に展開していた事業を有志が継承し、現在はボランティア主導で運営されています。単なる農業体験の枠を超え、キリスト教的倫理観や自由学園の教育理念を基に、人格形成の場としての大きな意義を持っています。

・日程: 1月16日(火)～18日(木)

・場所: 静岡県御殿場市「御殿場 YMCA 東山荘」

富士山を眼前に望む東山荘は、最寄り駅から徒歩約30分の距離に位置します。この「不便な徒歩移動」は、参加者が日常を離れ、不思議な世界に飛び込みました。リーダージジモンをはじめとする学生、現役の農業従事者、そして精神的支柱となる牧師など、多様な背景を持つリーダーたちが集結しました。

#### 目標

- ・「命の循環」を、食と身体を通じて構造的に理解する。
- ・異なる専門性を持つ他者と、自己の現状を客観視する。
- ・リーダーとしての社会的責任感と、生命への念を再構築する

入山時の徒歩移動に始まり、餅つきや炊き出しといった食事作りは、極めて教育的な「チームビルディング」の役割を果たしました。特に「餅つき」においては、力配分や一点に集中するリズム、周囲との呼吸を合わせるタイミングが不可欠であり、身体的プレッシャーは、協調的リーダーシップを実践的に学ぶ機会となりました。

秘伝の枝豆を用いた「ずんだ餅」作りでは、普通の滑らかなペーストとはちがい、豆の食感を残した粗挽きの「ずんだ」になりました。じじもんは、「今まで食べた中で一番美味しい」と評したこの体験は、「本物の食」を発見。地域の伝統が持つ競争力を参加者に印象付けました。

「アイガモ農法」で育てられた鴨の調理や、持ち寄った野菜での炊き出し、焚き火での焼きリンゴ作りを行い。生産者の顔が見える食材を、自らの手で「命」から「食」へ、生命維持の根源的な

営みを知りました

無添加・化学調味料無しの漬け物作りでは、乳酸菌の働きによる発酵の深みを学びました。一口食べた後の喉元に広がる「平和で爽やかな後味」は、本来の食べ物にて、人間の内に広がる影響を五感で感じました。「食」を単なるエネルギー資源としてではなく、自然界からの「贈り物」として認識しました。自給自足的な調理実践は、現代社会で希薄化した「生命をいただく」という実感を感じ取りました。

#### 基幹テーマ「命の循環」の多角的考察

漬け物を例とした目に見えない微生物の働きは、人間の健康に役立ちます。目に見えない信頼関係や「対話」が組織の健全性を形作るプロセスに相当します。微細な生命の営みが全体を支える構造を、発酵食を通じて学びました。

夜間のバーベキューでの「語り合い」では、個人の悩みや課題がコミュニティ全体の共通課題となり。個人の経験が他者の知恵に転換されるこの「対話による循環」こそが、本塾のリーダー育成における最大の成果の一つとなりました。

#### ・共生の学び(共同舎舎と自由学園の精神)

自由学園の「個性を尊重し、得意なものを伸ばす」という教育方針や、障害の有無や社会的背景を問わず、それぞれの「できないこと」を否定せずに受け入れ、真のリーダーシップを刺激しました。厳しい寒冷環境下での活動は、参加者の精神的タフネスを養いました。不自由さを克服し、達成感を共有する経験は、困難な状況下でも前向きに道を探る「折れない心」を形成しました。単なる農業研修への支援ではありません。自然の摂理を理解し、他者との共生を重んじ、身体性を伴った課題解決能力を備えた「倫理観のあるリーダー」を地域社会に輩出することに直結します。これは、持続可能な社会構築に向けた極めて費用対効果の高い長期的な投資であると評価できます。

第30回農村青年塾は、「命の循環」を食事、対話、自然体験を通じて多層的に学ぶ場として、高い教育的成果を収めました。学生からベテラン、牧師までが同じ環境で過ごし参加者の今後のキャリアにおいて確かな糧となるはずで

## メンバーのプライベートが聞ける、1分スピーチ

大関メン: 10カ月ぶりの例会出席です。無事に戻ってきました、脊柱管狭窄症で苦しんでいました。貧血を併発しまして、1人での行動が制限されていました。昨日から1人で行動できるようになり、今日を迎えております。徐々に単独行動を増やしていきます。よろしく願いいたします。

井上メン: 挨拶するような種がありません。体の調子が悪くて、無理ができません。

井上優子メネット: 精神的にイライラしています。顔つきも変わっていますか? 修三さんにはお留守番をしてもらって、メンバーや、若いリーダー達の顔を見て笑顔を取り戻したいです。

高橋ウイメン: 学童でおやつを作ることで、なにかイベントができないだろうか、アレンジして料理づくりをしようと思いました。パンケーキ、フルーツポンチ、クレープ、餅つき、クッキーにチョコレートのデコペン。子供たちのやり切った達成感。子供達の期待に応えて行こうと思っています。

魚住メン: 1月のスキーキャンプに東京の孫2人が参加しました。スタッフ、リーダーに感謝します。2人とも大変満足していました。娘たちも同じく YMCA のスキーキャンプに参加してまして親子代々、受け継がれています。

中村メン: 大仏を見に行こうと子供たちを誘いました。盛岡大仏を見に行きました。大きな大仏があるお寺です。仁王像などもあり珍しかったので、喜んでくれました。ちいさな冒険を楽しみました。

三田メン: 薬局にニュースの取材が来ました。緊急避妊薬が薬剤師の指導で飲めるようになりました。これは画期的な出来事で、NHK が取材にきました。長時間の取材で放送は2分くらいでした。

高橋創さん(ピン): 次年度のリーダー会長が決まりました「サン」です。仙台の引っ越し先を探しています。八木山動物公園の近くに住まうと思います。誰も知り合いがないのでまずは動物と仲良くしようかな。

滝澤里菜さん(グラ): ゲストの八重樫さんが陸前高田出身という事で、私、陸前高田で街おこしの活動をしているので、親近感を覚えました。人との向き合い方、行動の背景に触れるのが大事だと感じています。友達の大学生も活動に誘いたいと思っています。

シンディウイメン: こんばんは、YMCA で英語を教えています。昨日、バレンタインの遊びを行いました。勉強だけではなく楽しみも教えます。これからも一緒に頑張ります。

濱塚メン: 2月28日リーダー送別会を行います。福島 YMCA 立ち上げはワイズを中心に行っています。3月29日~31日福島スタディツアーを行います。YMCA は有名人が出ると宣伝します。高市早苗はYMCA 予備校出身だったと、本当です。でも誰も言いたがらないのはなぜ?

梶原メン: 漬物の話で微生物の事ができました。麹菌、酵母菌、乳酸菌でできる、キムチを作り、カスピ海ヨーグルトを作り、だんだん別のものになっていきます。今年は思い立ってジップロックで作ってみました。まだ酸っぱくなっていません。もう少しで食べられるかな。

加藤メン: だいぶ寒さが緩みましたが、ひところの寒さは強烈でした。盛岡で冷蔵庫は何に使うか知っていますか。野菜を「しみらかかせ」(凍らせる)ないために使うのです。今年は冷蔵庫の中の物も「しみました」(凍りました)。

田口佳樹さん(ジジモン): 新年度から農村青年塾担当になります。学童の子供達やリーダーと、雫石に行って野菜づくり、料理づくり、食べもの、大切さ、美味しさ、を学びたいと思っています。甥っ子の言葉の覚える速さ、自分の過ぎた1年、速いですね。濃密な人生にしないといけませんね。

長岡会長: 獣と遊んでおります。カモシカはよく来ます、今日はメネットが、「鳩がいる」というので、雪の上に鳩は来ないと思えばよく見たら「雉」でした。大きな声で「鳩でね、雉だ」と言ったら、猛烈なダッシュで山へ駆け上がりました。

八重樫公子さん(ゲスト): 盛岡に来て陸前高田の話聞けると思っていなかったのが嬉しくなりました。博物館でいところが勤めています。行ったときは私の名前を出して、お話をしてください。いとも喜びます。

吉田桜千さん(ハッピー): 岩大2年です。サッカー教室で子供達と遊んできました。就職活動を意識し始めました、公務員を目指します。ワイズのみなさんとのふれあいを求めて参加しました。ありがとうございました。

西澤修司さん(キャップ): 昨日、リーダーバレーを行いました。YMCA 活動の中でリーダー同士が仲良くなるのが大事です。後輩が入ってくるので、仲良くやって行きたいです。

# 「ズリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

|         |     |     |       |         |    |    |      |  |
|---------|-----|-----|-------|---------|----|----|------|--|
| 2月の出席率  | 11名 | 73% | ゲスト7名 | メネット    | 1名 |    |      |  |
| メーキャップ  | 0名  |     |       | 2月切手    | 0g | 累計 | 220g |  |
| 2月のにこにこ | 0円  | 累計  | 0円    | 富士宮焼きそば | 0円 | 累計 | 0円   |  |
| 2月 石鹸   | 0円  | 累計  | 0円    | りんご     | 0円 | 累計 | 0円   |  |
| 2月 献金   | 0円  |     |       | ファンド合計  |    | 円  |      |  |

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 本店営業部(店番号 001)普通口座 2391117

もりおかワイズメンズクラブ 代表 長岡 正彦

2月のハッピーパースディ 2/10 加藤 淳メン、2/22 高橋 千鶴子ウイメン お誕生日おめでとうございます。

## また会える日まで、それじゃ、またな

2月28日、盛岡YMCAリーダー会が、卒業するリーダー20名を送別しました。卒業するリーダー、送る在会生70名、スタッフ、OB、OG としてもりおかワイズメンズクラブ、総勢120名出席で盛大な送別会卒業式を行いました。



なにが始まった？なんでだろう



騎馬3騎、アーチを無視して勝手に入場

そうならそうと言ってから入って来いよな。誰にも縛られない、自由な行動で、「俺たちの時間だ」。認めます、だから君たちは青春を謳歌してYMCAと子供達と太い絆を編み上げてきたんだね。リーダー会の本領を發揮した意表をつく入場でした。司会を含む会場の100名が啞然としている間に、卒業生はひな壇に着席していました。

魚住理事長から感謝状と聖書が授与され、在会生が作った



### 編集後記

現在、3月1日午後0時50分です。リーダー送別会が2月28日であったため、この記事が2月号に掲載するため、編集が3月に突入してしまいました。3月号に掲載してしまえば、時期が遅れてしまいます。ご了承ください。

今月も卓話は「AI君」に編集してもらいました。ガチガチの論文形式で書いてきましたので、次回からは、やさしい表現と、口語

贈り物を渡し、涙のお別れシーンへ。理事長挨拶の後半、魚住理事長と長岡会長による「今日の日はさようなら、若者たち」という組曲をギター演奏で歌をプレゼントしました。事前に魚住理事長からガチガチの定型挨拶より、歌のプレゼントが良いと申し出があり、長岡が曲の準備をしました。失敗も少なく、まあまあの出来でした。



リーダー会長ピン、往住理事長



組曲今日の日はさようなら、若者たち

在会生作成のビデオ上映、OB、OGからの激励メッセージ、次から次へ感動のプログラムが続き、全員参加のリーダー会の遊びの時間で、大盛り上がり。本領發揮でした、遊びを創作するのはお手の物、初めての遊びでも大いに盛り上がりました。この子達と一緒にキャンプやスキー、日常の学童はどんなに楽しんだろうと遊びながらも感心させられました。

最後は、全員で歌う「さよならバス」です。ギター同好会では2カ月前から練習開始、難しいリズムの楽曲で悪戦苦闘の練習をしてきました。何とか演奏しきれるようになり、この日本番です。ちなみに今年から山口メンがエレキベースで参加。演奏に厚みが増し、我ながら素晴らしい出来上がりの演奏になりました。

体で書くようお願いしてみます。ブリテン全体の編集も「ジェミニ君」(対話型人口知能)にお願いすると、一瞬で編集完了となりそうです。掲載する記事の文章と写真を提供して「ジェミニ君」に編集をお願いしてみます。どうなるでしょう。

ブリテンを書き始めて18年、時代は変わりました。ブリテンの編集が革命的に楽になりそうです。

それではみなさん、また来月お会いしましょう。長岡